

# 水槽車仕様書

岐阜市消防本部

## 第1 総 則

1 本仕様書は、岐阜市消防本部（以下「本部」という。）が令和5年度山県消防署に更新配備する水槽車（以下「車両」という。）の製作及びそれに関する一切に適用する。

2 契約に当っては、本仕様書を了承するとともに、疑義の生じた時は、本部に質問し、十分熟知のうえ契約すること。

なお、契約後の疑義一切は総て本部の解釈に従うものとする。

3 車両は、この仕様書に定める他、その他関係法令及び基準に適合するとともに、完成後は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

4 製作に先立ち受注者は、次の図面（A4ファイルにて製本）を提出して承認を受けるとともに、本部と製作上細部にわたり十分な打合せを行い指示を受けるものとする。

(1) 承認図等（契約締結後8週間以内）

ア 製作ぎ装承認図（5面図前・後・上・左・右）	2部
イ 製作工程表	2部
ウ 諸元性能一覧表	2部
エ 水槽本体図・配管図及び特装部の電気配線図	2部
オ その他本部が指示する図書	

(2) 完成車納入時（キングファイルNo.1473×2）

ア 車両点検整備説明書（車両修理署）	1部
イ 消防ポンプの点検整備書及びパーツリスト	各1部
ウ 取付け装備品及び機器の保証書	2部（1部写し）
エ 完成図面、配管図及び特装部の配線図	2部
オ 自動車検査証等の写	2部
カ 写真（外観四面）	2組
キ その他本部が指定する図書	

5 製作に伴う諸種の理由で本仕様書に変更を必要とする時、或いは疑義の生じた時は直ちに本部に連絡のうえ協議すること。

6 製作に当っては、次の点に留意すること。

(1) 車体は、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るものであり、軽量頑丈優美で左右の荷重割合を十分考慮すること。

(2) 取扱操作が簡単であり、点検及び整備が容易に行えること。

(3) 製作艱装全般にわたり厳重検査を実施すること。

## 第2 概要

- 1 この車両は、キャブオーバー型シングルキャブ後2軸で、キャブの後方にポンプ室及び水槽を(10,000ℓ)積載し、水槽後方に加納式ホースカーを備えた車両であること。  
また、緊急時には給水車として活動できる車両であること。
- 2 キャブの後部座席背部に空気呼吸器2セットを取付け、簡単、迅速に装着できる空気呼吸器取付け装置を設けること。
- 3 ポンプは、シャーシー固有の動力伝達装置で駆動する高圧二段バランスタービンポンプを装備し、井戸、河川及び消火栓の水利から強力な放水ができ、火災、その他あらゆる災害に迅速、かつ的確に活動し得る構造であること。  
また、長時間の連続放水等で、排気ガス浄化装置が自動再生又は、手動再生ができて煤が堆積しにくく活動に支障をきたさない構造であること。
- 4 車両の隊員席にエアコンディショナーを設けること。

## 第3 仕様

### 1 シャーシー

#### (1) シャーシー型式

ア シャーシー	シングルキャブ型
イ ホイルベース	6,000mm 以下
ウ エンジン	ディーゼルエンジン 380PS 以上 平成28年ディーゼル重量車排出ガス規制適合車
エ 全長、全幅、全高	9,500mm×2,500mm×3,500mm 以下 (サイズについては、コンパクト化に努めること。)
オ 乗車定員	3名
カ 車両総重量	22,000kg 未満
キ オートマチックトランスミッション	
ク 4輪駆動方式	

#### (2) シャーシー装備品

ア 動力伝達装置	PTO
イ エンジンガバナ	オールスピード式
ウ オイルクーラー	
エ 補助クーラー	
オ 電圧計	
カ ジェネレーター	24V-150A 以上
キ バッテリー	120AH 以上×2個
ク カーラジオ (FM付)	
ケ サイドバイザー	各ウインドーに取付け
コ 助手席にサンバイザー取付け	
サ スタッドレスタイヤ (全輪)	
シ 床マット (取付け)	

- ス ディスチャージヘッドランプ若しくは、LED 式ヘッドランプ
- セ フォグランプ
- ソ パワーウィンドー・集中ドアロック
- タ サイドミラーに補助ミラーを取付け
- チ キャブ内大型デジタル時計
- ツ 車両バッテリー充電器（接続コード 10m 含む）
- テ 電波式ドアロック開閉装置

(3) 付属品

- ア スペアタイヤ（スタッドレスタイヤでホイール付各サイズ 1 本）
- イ 自動車標準工具一式（ボールピンハンマー KTC SK3561W 含む）
- ウ 停止表示板
- エ フロアーマット（車両 1 台分）

2 艀装材料は、次に掲げるもの又はこれらと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用すること。

日本工業規格（工業標準化(昭和 24 年法律第 185 号)第 17 条第 1 項の日本工業規格をいう。以下同じ)

部 品 名		材 料	
ポ ン プ	羽 根 車	日本工業規格	H5120（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H5121（銅合金連続鋳造鋳物）
	ポンプケース	〃	H5120（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H5121（銅合金連続鋳造鋳物）
		〃	G5501（ねずみ鋳鉄品）
		〃	H5202（アルミニウム合金鋳物）
	ポンプ軸	〃	G4303（ステンレス鋼棒）
		〃	G4102（ニッケルクロム鋼鋼材）
	真空ポンプ	〃	H5120（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H5121（銅合金連続鋳造鋳物）
真空ポンプ軸		〃	G4051（機械構造用炭素鋼鋼材）
重要動力伝導軸 重要動力伝導歯車	〃	G4051（機械構造用炭素鋼鋼材）	
	〃	G4052（焼入性を保証した構造用鋼鋼材（H 鋼））	
水 槽		〃	G3101（一般構造用延鋼材）
吸・吐水用配管		〃	G5501（ねずみ鋳鉄品）
		〃	G3452（配管用炭素鋼鋼管）
ホースの結合用ネジ部		〃	H5120（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H5121（銅合金連続鋳造鋳物）
		〃	H5202（アルミニウム合金鋳物）
車 の 構 成 材		〃	G3101（一般構造用延鋼材）
注 通水内面には、防食処置を施すこと。（ただし、銅及び銅合金部分を除く。）			

### 3 主ポンプ

- (1) 高圧二段タービンポンプとする。性能は、国の定める A-1 級の規格に合格するとともに、次の数値以上の性能を有すること。
  - ア 規格放水量 送水圧力 0.85MPa において 2.8 m<sup>3</sup>/min 以上
  - イ 高圧放水量 送水圧力 1.4MPa において 2.0 m<sup>3</sup>/min 以上
- (2) ポンプは、シャーシーに確実に固定し、振動等によって移動又は破損等が生じないように取付け、特にエンジンマウンティングの影響により支障のないよう留意すること。
- (3) 主羽根車  
羽根は、斜流型であり、軸上に向かい合って組合せ高圧発生の場合でも軸に横押しの力がかからず、羽根及び水路の肌は滑らかで高性能を発揮すること。
- (4) ガイドベーン  
羽根及び羽根の周囲に設けられた水路は高圧性能に適した合理的な構造であること。
- (5) グランド部の漏水は、一切の構造機構にかからぬよう、パイプを以て下方に導くこと。
- (6) グランドパッキンは、メカニカルシール方式とし、メンテナンスフリーとすること。
- (7) ポンプ本体下部にドレンコックを設けること。
  - ア 各段毎に設けること。
  - イ コック操作は、ポンプ作動レバーと連動とする。(電磁バルブ式には手動式バルブを取付けること)
  - ウ 排水が車両構造等にかからないよう配慮すること。

### 4 真空ポンプ

#### 無給油式真空ポンプ

- (1) 性能  
回転数 1,200rpm 吸管 (75mm×10m) 外端部閉塞にて次の数値とする。
  - ア 30 秒以内に試験時大気圧の 84%以上
  - イ 漏気は 30 秒間 1.3KPa 以下
- (2) 動力伝達装置は、機能確実に振動及び騒音が少なく円滑に脱着できる構造で完全揚水 (水圧 0.3MPa 以内) と同時に自動的に停止するものであること。
- (3) ポンプとの間に、砂、水等の除去装置を設けること。
- (4) 非常用の別系統スイッチを車両右側に設けるものとする。

### 5 主ポンプ伝導装置 (シャーシー固有のもの)

- (1) 本伝導装置は、主ポンプへの伝導を容易に接断し、走行用の動力を任意かつ容易に切替え得る構造とする。
- (2) ポンプ回転時は、エンジンクランク軸から直接動力を伝え、高効率で操作容易なものとする。

## 6 吸水口

- (1) 吸水口は、ポンプ室両側に各一個設け 90mm ボールコック付とし、それぞれストレーナーを設けるものとする。
- (2) 吸水口にはエルボを取付け（速消ボックスに当たらないこと）、これに 75mm ×10m のソフト吸管を接続し、ポンプ室両側に収納装置（吸管ブラケット）を設け固定し側板に保護板を設けること。  
なお、ブラケットは 90° 下側へ開き、ストレーナー取付け部が上になるようにすること。
- (3) 吸水配管は、流水抵抗をできるかぎり少なくするよう努めること。
- (4) ボールコックには、残水を完全に排水できるようパイプ(10mm)に傾斜をつけドレンコックを設けること。

## 7 呼び水装置

呼び水装置は、吸水量 1,000ℓ/min（吸水高 3m）のとき、バルブを全開しても落水せず、60 秒以内に揚水を完了できるもので、揚水確認が容易にできる通水確認装置を設けること。

## 8 中継口

- (1) 中継口は、ポンプ室両側に各一個設け、65mm ボールコック（ストレーナー付き）を取付けること。
- (2) ボールコックには、残水を完全に排水できるようパイプ(10mm)に傾斜をつけドレンコックを設けること。

## 9 放水口

- (1) 放水口は、ポンプ室両側に各二個設け 65mm ボールコックを取付けること  
また、両側 1 個は吸管が収納状態時において外側に取付けること。
- (2) ボールコックは、高圧力においても容易に開閉操作ができること。
- (3) 放水配管及びボールコックは、残水を完全に排水できるよう傾斜をつけドレンコックを設けること。
- (4) 自動放口閉塞弁（天頂バルブ）については、車が傾斜しても自動的に閉じる構造とすること。

## 10 冷却水配管

- (1) ギヤーケース、エンジンオイル及びラジエター水の冷却のため、冷却水配管を放水配管から取出し設けること。
- (2) 配管は、一系統にまとめバルブで調整でき、調整バルブに予備回路を設けそれぞれにストレーナーを設けること。（ストレーナーの清掃が容易に出来る構造とする）

## 11 ポンプ操作装置

- (1) ポンプ操作に必要な各装置はポンプ室左右に設けること。
- (2) ポンプドレンコックは、ポンプレバーと連動式とする。
- (3) 真空ポンプ作動方式は電動ワンタッチ式とし、操作ボタン及び予備操作装

置をポンプ室両側に設けること。

なお、真空ポンプの停止スイッチは筒先要因の安全確保の為に緊急時減圧機能（エンジン回転を一気にアイドルリングまで下げる）を兼ね備えること。

- (4) スロットルハンドルは電子スロットル式とし、左右連動で自動調圧装置を両側に取付けること。
- (5) 操作装置左右（計器板）に揚水確認灯を設けること。
- (6) 操作装置左右（計器板）に PTO スイッチ（ON・OFF）を設けること。

## 12 水槽

- (1) ポンプ室後方に容量 10,000ℓ（一般構造用圧延鋼材以上の強度を有する材料で、ステンレス製、アルミ製及び樹脂製）の角又は楕円形的水槽を設置し、水圧に対して変形及び水漏れのない構造で、水槽内部には有効に防波板を設けること。

なお、防波板はステンレス製、アルミ製及び樹脂製であること。

- (2) 水槽より主ポンプへの吸水配管は 90mm ボールコック付とし、配管にはビクトリックジョイントを取付ける。
- (3) 主ポンプより水槽への送水配管は、75mm ボールコック付とし、配管にはビクトリックジョイントを取付ける。
- (4) 水槽内部は清掃維持管理の容易な構造で、排水口は水槽内の水を完全に排水できる構造で開閉コックを設けること。
- (5) 水槽にはオーバーフローパイプ式水量計を設け、夜間でも容易に確認できるように照明灯を設けること。（ポンプ室両側）
- (6) 水槽の上部は完全にフラットにしてアルミ縞板を取り付けること。
- (7) 水槽上部の前後 2 カ所に内部作業時に出入りできる点検用マンホールを設

け、

いかなる走行状態においても漏洩しないものとする。

## 13 水槽配管

- (1) 水槽積水口は、ポンプ室の両側に各 1 個設け、65mm メス金具でストレーナーを取付け、65mm で配管する。（65mm 差込オスキャップ付き）
- (2) 車両後部付近に給水金具取付け口（カラン用）を 1 個設け、65mm ボールコック、ストレーナーを取付け、水槽から 65mm で配管すること。（65mm 差込オス金具、蓋付）
- (3) 後部給水口（2）には、脱着式の水道カラン（32mm 5口）の取付けが容易に出来る構造とする。
- (4) 各配管には、ドレンコックを操作容易な位置に取付けること。
- (5) 常時接水の各配管及びコック、バルブ等は、ステンレス鋼材を使用すること。
- (6) 積水口等全ての蓋金具は、落下防止のため車体に鎖で連結すること。
- (7) オーバーフローパイプは、65mm 以上の配管として設けること。
- (8) 電子式水量計を左右ポンプ室、車両後部付近に設け、水量変化を無段階に表示（もしくは 30 点式以上）できる構造とすること。

また、残存水量が水槽容量の 1/4 に達した場合は水量を赤色表示し、水量

の減少を警告できること。

#### 14 車体の構造

- (1) 艀装材料の厚さは次によるものとし、フロアステップ及びバンパー上部リアフェンダー上部、その他必要とする部分はアルミ縞板であること。

ア 側板	1.6mm 以上
イ サイドエプロン	1.2mm 以上
ウ フェンダー	1.0mm 以上

- (2) サイドステップ及びリアステップは、縞アルミ板で外端部を折り曲げ加工とし、加工部位はケガ等しないように研磨する。

- (3) キャブとポンプ室の間に資機材を積載ができる収納室（間口 600mm 高さ 1,100mm 以上）を設けること。

収納室内には資機材を収納する BOX を設け、左右どちらからも出し入れができ、左右開放方式とすること。

また、左右扉は鍵付きシャッター（バーハンドル式）で、照明灯（大阪サイレン製 LIA-W2×2 個）を設けること。（スモール連動、スイッチ付き）

なお、収納室下付近に展開ステップまたは、スライドステップを設け、収納及び出し入れがスムーズに出来る構造とすること。

- (4) 両側のポンプ室は、鍵付きシャッター（バーハンドル式）で覆い、室内に照明灯（大阪サイレン製 LIA-W2×2 個）を設けること。（スモール連動スイッチ付き）

また、吸管を伸張及び収納しやすいよう考慮し、各操作盤等の配置をすること。

なお、吸水及び放水コックの補修に必要な箇所は取外しの出来る構造とすること。

- (5) ポンプ室下に速消ボックスを設けること。

幅 1,000mm 高さ 400mm 奥行き 350mm 以上とし、内部にボックス（縦 340mm 横 400mm、高さ 300mm）を設けること。

なお、扉はステップを兼用する構造で、扉は 90° 以上開き、安全上補助ロックを各 2 個取付ける。

- (6) 水槽後部両側に収納室を設け、鍵付きシャッター（バーハンドル式）で覆い、室内に照明灯（大阪サイレン製 LIA-W2×2 個）を設けること。（スモール連動、スイッチ付き）

室内に 65mm ホースが 2 本積載できる背負器を各 2 個取付けること。

（固定バンド付き）

また、車両全長が長くなるように考慮するとともに、スペースに余裕がある場合は、二重巻きホース等が収納できるよう考慮し、収納及び取出しが容易にできるよう収納室下方はステップ兼用扉を設け、手すりを設けること。

なお、デパーチャアングル角度を多く取得するように考慮すること。

- (7) 水槽後部に器材収納室を設けること。（収納室の詳細は別に協議）

幅 1,000mm 高さ 1,200mm 奥行き 600mm 以上とする。

ア 内部は 2 段に仕切り、上段は二重巻きホースが立てて入る高さ以上で器材を多く収納出来るようスペースを考慮する。

イ 下段は、ホースカーを収納し、取付装置を設けること。

- ウ 室内灯(大阪サイレン製 LIA-W2×2 個)を 2 段共スモール連動スイッチを取付けること。
- エ ホースが倒れないよう可動式の間仕切り板(⊥型 3 個)取付けること。
- オ 2 段とも 50mm の敷居を取付け、鍵付きシャッター(バーハンドル式)で覆うこととする。
- カ リアエプロン下部両側に照明装置(大阪サイレン製 LIA-300 保護枠付)を取付けること。(スイッチ付き)
- キ 収納室下にステップを設けること。  
なお、デパーチャアングル角度を多く取得するよう考慮すること。
- (8) スイッチ類は大阪サイレン製 SBW-D1、電子サイレンアンプ及び無線機、ワイヤレスマイク用アンプをキャビン内のオーバーヘッドコンソール及びダッシュに取付けること。(夜間見易いように照明付き)  
なお、AVM モニターを操作しやすいよう専用台を設けボックスに取付けること。(ボックスサイズ等別途協議)
- (9) とび口は、側板上部内側に取付ける。
- (10) 車体の後部右側に展開式昇降用梯子(アルミ製)及びポンプ室付近に折畳式のステップを取付けること。
- (11) 金てこ、消火栓開閉金具(大箱ネジ回し)は、ポンプ室前方収納庫に取付けること。
- (12) 器材積載部及び各収納部には、全面スノコを取付けること。
- (13) 天板の最前部及び最後部に手すりを取付けること。
- (14) ステップはアルミ縞板で外端部を折り曲げ加工とする。  
また、全てのぎ装においてキャビン・車体及び水槽への蹴り込み部分には、アルミ製の化粧板により保護を施すこと。
- (15) 天井部分(キャビンは除く)は可能な限りフラットにし、アルミ縞板で覆うこととする。
- (16) 全ての扉・シャッターは朱色として、パッキン等を貼り付けし、雨及びほこり等が侵入しないよう考慮すること。

## 15 外装部

手すり及び部品等は可能なかぎりステンレス製を使用し、メッキ可能な積載品は、全てクロームメッキを施すこと。

### (1) 塗装

ア 車体は、特殊化学液にて充分錆落としのうえ、りん酸塩被膜を形成後プライマー、パテ水研ぎ、サーフェーサーを行い、朱色アクリルウレタンにて 3 回以上の吹き付けを行い、充分乾燥させること。

イ 収納室内はグリーン塗装とする。

ウ ポンプ関係及びシャーシーフレームは、メーカー標準色の塗料で入念な塗装を行うこと。

(2) 各操作レバー、バルブ及びコック類には文字の消えにくいネームプレートを設けること。

(3) 水槽、ポンプ室シャッター、標識灯及びキャビン上部に指定の文字(寸法等は別に指示)を記入すること。



16 取付け品及び取付け装置は次に掲げるもの

- |   |     |
|---|-----|
| (1) ポンプ圧力計  | 2 個 |
| (2) ポンプ連成計 (リタード式)  | 2 個 |
| (3) エンジン回転計   | 1 個 |
| (4) エンジン油温計   | 1 個 |
| (5) 赤色警光灯   |     |
| ア キャビン上部 (大阪サイレン製、NF-LL-VAK2M-HC2 標識灯付)   | 1 個 |
| イ 荷台後部 (大阪サイレン製 LFA-300 型 保護枠付)   | 2 個 |
| ウ フロント (大阪サイレン製 LFA-200 型 保護枠付)   | 4 個 |
| エ サイド (大阪サイレン製 LFA-200 型 保護枠付)  | 4 個 |
| (6) 電子サイレン (大阪サイレン製 TSK-D152)   | 1 個 |
| 署用標準搭載メッセージが使用できること。(音声キャンセルスイッチマイク付き及び出動予告放送付)   |     |
| (7) 照明灯   |     |
| ポンプ室上部に照明装置 (佐藤工業所 ナイトスキャンチーフ LED 160W×2 カバー付き) を設け、照明は 1m 以上上下するものとし、車両のバッテリーから電気を供給する構造とすると共に、キャブタイヤコードを防水処理すること。(操作盤は、無線方式及び運転席側に埋め込み型を設けること。) |     |
| (8) 後退警報器 (夜間停止式)   | 1 個 |
| (9) 後方視界用カラーモニターをリアエプロン中央上部に設け、キャビン内のルームミラー型モニターで常時確認できること。(カメラに保護板を取付け)  |     |
| (10) 左右の車両サイドに作業灯を取付けること。   |     |
| (大阪サイレン製 LIA-200 型 保護枠付)  | 4 個 |

17 軽微な変更として備える取付け品及び取付け装置は次に掲げるもの

- |   |              |
|---|--------------|
| (1) 電磁式流量計 (放口毎)、電磁式積算計 (左右各 1) デジタル式                             |              |
| (2) 電動キャブチルト装置  |              |
| (3) オイルパンヒーター コード 10m 付き (コード接続部は外付け)                             | 1 個          |
| (4) 不凍液注入装置   |              |
| (5) 車外無線ボックスをポンプ操作盤付近のシャッターボックス内に設ける。                             |              |
| また、車両動態装置の車外設定器及びスピーカー・ハットセットを取付け収納し、車両後部付近にはスピーカー・ハットセットを取付けること。 |              |
| (6) ワイヤレスマイク装置 (ユニペックス製)  |              |
| 車載用ワイヤレス受信機 (チューナー内蔵)   | NDW-301 1 個  |
| 車載用ワイヤレス受信アンテナ  | AA-3800B 2 個 |
| ワイヤレスマイク  | WM-3000A 1 個 |
| (7) バッテリーメインスイッチ (LED) を設けること。                                    |              |
| (8) 夜間でも見やすいように、キャビン内 PTO スイッチを照らすための照明 (LED ライト) を取付けること。        |              |
| (9) キャビン内にシャッターBOX 等の開閉確認灯を取付け、開閉確認表示はキャブ内上に設けること。                |              |

(10) 車両後部に、ホース延長用資機材（ホースカー65mm×8本積用）を設けること。

また、65mm、50mm用管槍立て及び分岐管用金具を取付け、カバーは内側に張りつけること。

## 18 積載品及び付属品

### (1) 備えなければならない付属品

品名	数量	備考
吸管(ラゼライン)	2本	75mm×10m (エルボ付) WS200MZ
吸口ストレーナー	2個	
吸管ストレーナー	2個	IWA製
吸管ちりよけ籠	2個	IWA製ヒッパーラー媒介、差込オス媒介付き
吸管まくら木	2個	木製
吸管ロープ	2本	10mm×15m (ナス環付)
消火栓金具	2個	75mmメスネジ×65mm差込メス(ヨネ製)
中継用媒介金具	2個	65mmメスネジ×65mm差込メス(ストレーナー付きヨネ製)
消火栓開閉金具	2個	地下式(0.8m(スタンドパイプより100mm長い物))、地上式用
吸管スパナ	2丁	
管そう	1本	C型65mmオスネジ×65mm差込メス 350mm(バンド付)
ノズル	2本 2本 1本 各1本	スパコンノズル NH-50SC クールファイターノズル NV-50CFP ダブコンマークII 水用ノズル(23、26mm)取付け
放口媒介金具	4個	65mmメスネジ×65mm差込オス(ヨネ製)
とび口	2本	約1.8m(柄は樫)
金てこ	1本	約0.8m
剣先スコップ	1丁	
車輪止	2個	プラスチック製(蛍光色)
消火器	1本	自動車用(ABC粉末6kg)
ポンプ工具	1個	KTC SK35622WZ(ポンプ工具含む)
カラン	1個	脱着式(32mm×5口)(アルミBOX内に収納)

給水口媒介金具	1 個	65mm メスネジ×65mm 差込オス(蓋付き ヨネ製)
水槽積水口媒介金具	2 個	65mm メスネジ×65mm 差込メス(スレーナ付き ヨネ製)

(2) 軽微な変更として備えることの出来る付属品

品 名	数量	備 考
タイヤチェーン	1 個	シングル用 (SCC Japan 製)
分岐管	2 個	65mm×65mm 差込メス 2 線個別(マルチコネクタ式 1 個含む ヨネ製)
ホースブリッジ	2 個	ゴム製、巾 450mm
照明器具	各 1 個	LED 方式 専用三脚 コード 5m 付き ホンダ EU18i
ホースバンド	10 個	OH-10 型
スタンドパイプ	1 本	単口引き上げ式 PS65 700mm (ヨネ製)
ホース漏水バンド	10 個	マジックテープ式
コードリール	1 個	30m 125V-15A 2P×4
媒介金具	各 1 個 2 個	65mm 差込オス×65mm 差込メス、65mm 差込メス×65mm 差込メス 65mm 差込メス×50mm 差込オス (ヨネ製)
ホース背負器	4 個	65mm ホース 2 本積
新型消火栓キー	1 組	
アルミボックス	1 個	1500mm×900mm×400mm 以上 (取手、ダンパー付き) (詳細、別に協議)
両端アワヤロープ	1 本	10m 圧縮止 8mm
クリッパー	1 個	MCC 製 BC-0760 10mm 対応 長さ 600m
強力ライト (乾電池式)	2 個	パナソニック BF-BS05P (乾電池付き)
伸縮式道路コーン 点滅ライト付	5 個	乾電池及びケース付き (60cm)
消火栓蓋開閉金具	1 個	OGA 用バール H-1K (株式会社オカモト製)
LED 発炎灯	1 本	JDH-R48
機関員用ベスト	1 着	点滅ライト付き
ディスクスレーナ	1 個	D75S (ゴミ取りネット 5 枚付き)
マグフォーム AGF-3T	5 本	200×5

19 その他の艤装及び装備品

(1) 消防章を、車体前部中央にエンブレム一体型で赤色台座に取付けること。

- (2) 標識板（岐阜市）をフロントバンパー右上部に取り付けること。（真鍮製）  
サイズは別途協議
- (3) 後輪照射灯（LED ライト保護枠付）左右サイドステップ下部に取り付けること。
- (4) 泥よけを4輪に取り付けること。
- (5) キャブ内に地図等収納箱を設けること。（サイズ等別途協議）
- (6) キャブ中央に大型室内灯を設けること。（LED ライト）
- (7) キャブ内に大型デジタル時計を設けること。
- (8) 全席に超防汚シートカバーを取り付けること。
- (9) 収納庫、ボックス内全てにすのこを設け、媒介金具等は、全てヨネ製を使用すること。
- (10) 車両動態装置（AVMGPS）  
既存の車両に積載してある車両動態装置（AVMGPS）を取外し納入する車両に取り付け、アンテナ等は専用台を設け配線貫通部は専用の防水金具を使用し、取り付けること。（配線及びアンテナは新品を使用しモニターは専用ステーにて取り付けること。）  
なお、以下の端子を装備した車両位置動態車載端末装置アダプターボックスを取り付けること。
  - ア バッテリープラス端子
  - イ バッテリーマイナス端子
  - ウ ACC端子
  - エ 車速パルス信号端子
  - オ バック（後退）信号端子
- (11) 無線電話装置  
既存の車両に積載してある無線機を取外し、納入する車両に取り付けること。  
取外し期間中、可搬型もしくは携帯型無線電話装置にて運用するため、別途本部の指示をうけること。なお、配線及びアンテナ、スピーカー等は新品を使用すること。
- (12) ドライブレコーダー（STR-200、補助カメラ、専用SDカード、再生用ソフト）  
新規品を納入する車両に取り付けること。
- (13) ドライブレコーダー連動のバックソナーを取り付けること。  
（市光製バックソナー4箇所）
- (14) 家庭用100V電源から給電するマグネット式で車両の両側どちらかでもバッテリーの充電ができるように充電器を取り付けること。

20 キャビン内、後部に空気呼吸器取付け装置を取り付けること。

（クイックホルダー BAB-200）2個

アタッチメントで、50、80ボンベに対応できること。

- (1) 着席時に呼吸器が直接背部に当たらないこと。
- (2) 空気呼吸器取付け部下に物入れを設け、呼吸器下面にクッション材を設けること。
- (3) 面体掛けを設けること。

21 記入文字

文字（丸ゴシック体カッティング）は、キャビン上部に白色テープで対空表示「岐水 5」（縦 53cm×横 53cm 出来る限り大きく）を貼り付ける。

左右水槽に「岐阜市消防本部」（縦 23cm×横 23cm）、左右ポンプ室シャッターに「水槽車 5」（縦 33cm×横 33cm）をリフレクサイト AP1000DL 白色反射テープ、標識灯は黄色地に「山県」と黒色テープで貼り付けする。（文字は左読みとする。）

また、車両後部に白色で「G I F U C I T Y F I R E D E P T .」  
「S I N C E 1 9 4 8」を貼り付け、車両左右に「再帰性に富んだ反射材」を貼り付けること。（サイズ等別に協議）

#### 第 4 検査

##### 1 中間検査

各艀装部分及び取付け品の位置、固定方法等について艀装中本部職員をして中間検査を実施するものとする。（ぎ装メーカー営業担当者及び製造担当者が立ち会うこと。）

##### 2 完成及び検収検査

新規登録検査に合格後、本部が本仕様書に基づいて各種検査を実施し、全てが良好と認め受注者から車両を受領して完了する。（ぎ装メーカー立会い）

しかし、検査の結果で本部が不合格と認めた箇所については、受注者は速やかに改修、再検査を受けること。

なお、改修等に要する費用は受注者の負担とする。

#### 第 5 補則

1 本仕様書に定められない事項でも、受注者が公表している仕様工作上において当然なことはこれを施工すること。

2 資器材等については、努めて軽量化を図るものとする。

ただし、強度を保ち変形しないこと。

なお、軽量化に伴い変更の場合は本部と協議をすること。

3 完成車は、中部運輸局岐阜陸運支局の行う新規登録検査及び緊急車指定申請手続きを完了後に本部へ納入する。

4 自動車損害賠償責任保険、登録手数料、その他新車登録手続きに必要な経費（重量税を除く）を含む。

5 完成車は、新規登録検査に合格後、各部の給脂等の点検整備を入念に実施し、燃料を満量にして納入検収を受けること。

6 保証期間が経過後といえども、使用資器材等及び艀装による不備欠陥等による故障破損等の一切は受注者の責任において速やかに修理若しくは交換し、それに要した費用は受注者が負担する。

7 納入後、修繕等が発生した場合、迅速かつ確実に対応すること。なお、受注者

に瑕疵がある場合においての費用は受注者側が負担すること。

- 8 保証期間は、納入検収後 1 年間とする。
- 9 完成車の納入期限は、令和 6 年 3 月 29 日とする。
- 10 数量及び納入場所  
数量 1 台  
所属 山県消防署  
場所 山県市高木 1291-2

以上

※ 担当 岐阜市消防本部消防課      T E L 058-262-7162  
F A X 058-266-8154